

スケート競技会

(フィギュアスケート競技)

競技の見方

会場図

競技役員・係員及び補助員

競技日程（詳細）

競技参加者一覧



フィギュア競技の見方

1 フィギュア競技の概要

フィギュアスケート競技にはオリンピック種目となっている男女シングル・スケーティング、ペア・スケーティング、アイス・ダンスの4種目と、その他にシンクロナイズド・スケーティングがあります。国民スポーツ大会では、男女のシングル・スケーティングのみが行われます。シングル・スケーティングでは、ショート・プログラム (SP)、フリー・スケーティング (FS) の順で行います。各種別の予選を通過した県代表2名が参加し、ショート・プログラムは全競技者が行い、上位24位までの選手のみが、フリー・スケーティングを演技することができます。

2 シングル・スケーティングの内容

シングル・スケーティングは、ショート・プログラムとフリー・スケーティングの合計得点で競われます。

(1) ショート・プログラム

3つのジャンプ、3つのスピン、1つのステップ・シークエンスから構成され、合計7つの決められた必須要素を2分40秒±10秒で演技をします。

(2) フリー・スケーティング

選手は自由に選択した音楽に合わせて演技をします。ボーカル（歌声）の入った音楽を使うこともできます。プログラムの演技時間は、成年男子、成年女子は4分±10秒、少年男子、少年女子は3分30秒±10秒です。音楽に合わせて7つのジャンプ、3つのスピン、少年はコレオグラフィック・シークエンスを、成年はステップとコレオグラフィック・シークエンスをバランス良く入れて演技します。

3 審判と採点方法

(1) 技術役員とレフェリー、ジャッジ

ISUジャッジング・システムは、「実施された要素として何をやったか、その難度レベルはどうだったか」を判定する技術役員と、「要素の出来栄え、プログラム・コンポーネンツ」を評価するジャッジとに分かれています。技術役員は、テクニカル・コントローラー1名、テクニカル・スペシャリスト2名の3人で構成され、コントローラーは実施要素の認定等に関する責任者です。違反要素 / 動作または転倒に対する減点を行う仕事もあります。スペシャリストは、スケーターが要素を実行するごとにその要素の名称と難度レベルをコールします。この3人が実施された要素と難度レベルを判定します。疑わしい場合は演技終了後にビデオで確認して判定します。要素はデータ・オペレーターによって入力され、ジャッジの手元にあるパソコン画面に表示されます。ジャッジはその要素の出来栄えをGOEで判断します。それに加えて、プログラム・コンポーネンツの評価もします。競技の進行に責任を持つのはレフェリーの仕事です。コスチュームの違反は、ジャッジ全員とレフェリーを含めたパネルの過半数の判定により、1.0の減点を適用します。50:50に票が割れる場合には、減点は適用しません。

(2) ISUジャッジング・システム (IJS)

ISUジャッジング・システム (IJS) は、これまでジャッジが頭の中で総合的に行ってきた判断の内容を細分化してすべてを数字に置き換え、決められた方法で算出された数字の合計値により順位を決めるものです。したがって、ジャンプやスピン、ステップといった技術的な要素にはそれぞれ難易度に応じた基礎値の点数が決まっています。

ジャンプは種類と回転数で難易度が決まりますが、スピンとステップは、内容によって難易度を

5段階に分けて設定しています。スピンは、フライング・スピンのはっきりとわかるジャンプがない、スピン・コンビネーションは2種類の基本姿勢しかない場合は厳しく判定されます。ジャッジズ・ディテール表に“V”という記号で表され（例 CCoSp4V）、基礎値が下がります。同じ難易度の要素でも、失敗したものと成功したものとでは実際の価値が異なりますので、ジャッジは要素の出来栄を、0をベースとしてプラス5からマイナス5までの11段階で評価し（これをGOE Grade of Executionと呼んでいます）、その評価にしたがって基礎値に加点したり減点したりして、実際に実施された個々の要素の価値点が決定されます。これらを合計したものが“総要素点 TES トータル・エレメンツ・スコア”と呼ばれるもので、演技の終了後に表示されます。失敗の多い演技だと、これが予定要素の基礎値の合計よりも低くなり素晴らしい演技をすると高くなります。一方、プログラムの構成や音楽の表現などは、プログラム・コンポーネンツと呼ばれる3つの項目に細分化されます。その3つとは「構成（CO コンポジション）、演技（PR プレゼンテーション）、技術（SK スケーティング・スキル）」それぞれの項目ごとに0.25刻みの10点満点で採点されます。このプログラム・コンポーネンツの合計点にあらかじめ定められた係数（男子では、SP=1.67、FS=3.33、女子は SP=1.33、FS=2.67）をかけたものを加えます。これが“総構成点（PCS トータル・プログラム・コンポーネンツ・スコア）”と呼ばれるもので、演技終了後に表示されます。ルール違反があれば減点（Deduction ディダクション）します。転倒も減点されます。そしてこれらの計算結果が、そのスケーターのその競技部分の得点合計（TSS 競技得点）になります。

ショート・プログラムの得点例

P1	Name	Nation	TSS=	TES+	PCS+	CO	PR	SK	Deduction	StN
1	CHIKAKO	JPN	65.76	35.50	30.26	7.80	7.30	7.65	0.00	#6
2	MAYA	JPN	65.23	35.70	29.53	7.65	7.10	7.45	0.00	#4
3	REIKO	JPN	61.93	34.20	27.73	7.15	6.70	7.00	0.00	#2
4	MARI	JPN	55.86	28.80	28.06	7.30	6.75	7.05	1.00	#3
5	HONOKA	JPN	55.20	28.60	27.60	7.15	6.60	7.00	1.00	#1
6	YUI	JPN	50.27	23.00	27.27	7.20	6.55	6.75	0.00	#5

これらの得点は、完全に絶対的な評価なのでショート・プログラムとフリー・スケATINGの得点をそのまま合計して最終順位を決定します。もし同点なら、フリー・スケATINGの得点の高い方を優先します。最終成績には、点数の差が重要な意味を持っています。

4 課題

(1) ショート・プログラム

ISUシニア課題

滑走時間 2分40秒±10秒	成年男子	成年女子
a) アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	
b) 単独のジャンプ	トリプルまたは クワド・ジャンプ	トリプル・ジャンプ
c) ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3、2+4、3+4	2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なるもの	
d) フライング・スピン	あらゆるタイプのフライング・スピン	
	着氷後最少8回転	
e) スピン	足換え1回のみのキャメル またはシット・スピン	レイバックまたは サイドウェイズ・リーニング あるいは足換えなしの シット/キャメル・スピン
	フライング・スピンのランディング ・ポジションとは異なるもの	
	各足最少6回転 (合計12回転)	最少8回転(規定の姿勢で)
f) スピン・コンビネーション	足換え1回のみの、少なくとも2種類の基本姿勢	
	各足最少6回転(合計12回転)	
g) ステップ	氷面を十分に利用したステップ・シーケンス	

ISUジュニア課題 2023～2024年

滑走時間 2分40秒±10秒	少年男子	少年女子
a) アクセル系のジャンプ	ダブルまたは トリプル・アクセル	ダブル・アクセル
b) 単独のジャンプ	ダブルまたはトリプル・ルッツ	
c) ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3	2+2、2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なるもの	
d) フライング・スピン	フライング・シット・スピン	
	着氷後最少8回転	
e) スピン	足換え1回のみの キャメル・スピン	レイバックまたは サイドウェイズ・リーニング あるいは足換えなしの キャメル・スピン
	各足最少6回転 (合計12回転)	各足最少8回転 (規定の姿勢で)
f) スピン・コンビネーション	足換え1回のみの、少なくとも2種類の基本姿勢	
	各足最少6回転(合計12回転)	
g) ステップ	氷面を十分に利用したステップ・シーケンス	

【説明】

ショート・プログラムは、7個の必須要素と、それらをつなぐステップおよび/またはムーブメントから構成されます。要素の演技順序は、選手の自由です。必須要素の内容は、表のとおりです。要素の均等な配分を促すため、プログラム後半（1分20秒以後）に行われた、ジャンプ要素のうち、最後の一つのみ、ジャンプ要素は1.1倍されます。また2分50秒後に開始された要素は、省略とみなされます。

① ジャンプ

a) で行った同じジャンプは、b) のソロ・ジャンプで繰り返すことはできません。

b) ジャンプ・コンビネーション：コンビネーションを構成するジャンプは同種類でも異種類でも良いが、しかし単独ジャンプで行ったジャンプとは異なる種類でなければなりません。成年男子では、ジャンプ・コンビネーションでクワド・ジャンプを行った場合、ソロ・ジャンプとして異なるクワド・ジャンプを含むことができます。同一のジャンプがソロ・ジャンプとして行われ、かつジャンプ・コンビネーションの一部としても行われた場合、これらのジャンプ要素のうち、後から行われたものはカウントされません。（後に行われたものがジャンプ・コンビネーションの一部として行われた場合、繰り返し要件に違反する個々のジャンプのみがカウントされません）

② スピン

単一姿勢のスピン、スピン・コンビネーション、足換えの前後に少なくとも3回転無いスピンは、スピンの要求を満たしているとはみなされず、カウントされません。フライング・スピンを除き、スピンはジャンプから始めてはなりません。スピン終了時のアップライト・ポジションは、もう1つのポジションとは見なされず、そこで行われた回転は要求される回転数には数えません。1つのポジションについて最少2回転が要求されています。この要件が満たされなかった場合、そのポジションはカウントされず、無かったものとみなされます。スピンに入る際にスケーターが転倒した場合、転倒に続いて直ちに単純なスピンまたは回転動作を時間調整のために行うことが許されています。このスピン（回転動作）は、要素としてカウントされません。

(2) フリー・スケーティング

ジャンプ・スピン・ステップを自由に組み合わせて滑りますが、バランスのとれたフリー・スケーティングの構成が必要になります。

ISUシニア課題

滑走時間 4分±10秒	成年男子	成年女子
ジャンプ	最大 7	
	1つはアクセル・タイプのジャンプを含む アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シーケンスの一部としても) 2回まで	
	トリプル、クワドの2種類のみ コンボ/シーケンスで繰り返し可能 その内クワドは1種類のみ繰り返すことが出来る 単独として繰り返された場合には +REP が付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シーケンスは3つまで可能	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シーケンスのうち 1つだけ3個のジャンプ可能	
スピン	最大 3	
	スピン・コンビネーション	
	フライング・スピンまたはフライング ・エントランスのスピン	
	1種類ポジションのスピン	
	コンボは最少 10 回転、それ以外は最少 6 回転	
ステップ	氷面を十分に利用したステップ・シーケンス	
コレオグラフィック ・シーケンス	形状には制約がないが、明らかにそれとわかるもの 2回転までのジャンプ、スピンを含むことができ、 BOX を占めない	
	レベルはフィックス、GOE のみで評価される	

*スピンのポジションとして認められるには2回転必要

ISUジュニア課題

滑走時間 3分30秒±10秒	少年男子	少年女子
ジャンプ	最大7	
	1つはアクセル・タイプのジャンプを含む アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シーケンスの一部としても) 2回まで	
	トリプル、クワドの2種類のみ コンボ/シーケンスで繰り返し可能 その内クワドは1種類のみ繰り返すことが出来る 単独として繰り返された場合には+REPが付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シーケンスは3つまで可能	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シーケンスのうち 1つだけ3個のジャンプ可能	
スピン	最大3	
	スピン・コンビネーション	
	フライング・スピンまたはフライング ・エントランスのスピン	
	1種類ポジションのスピン	
	コンボは最少10回転、それ以外は最少6回転	
コレオグラフィック ・シーケンス	形状には制約がないが、明らかにそれとわかるもの 2回転までのジャンプ、スピンを含むことができ、 BOXを占めない	
	レベルはフィックス、GOEのみで評価される	

＊スピンのポジションとして認められるには2回転必要

【説明】

ジャンプ・スピン・ステップを自由に組み合わせて滑りますが、バランスのとれたフリー・スケーティングの構成が必要になります。要素の均等な配分を促すため、プログラム後半（少年は1分45秒以後、成年は2分以後）に行われた、ジャンプ要素のうち、最後の3つのジャンプ要素は1.1倍されます。また許された滑走時間以後（少年は3分41秒以後、成年は4分11秒以後）に開始された要素は、省略とみなされます。

① ジャンプ

ジャンプ要素とは、単独のジャンプ、ジャンプ・コンビネーション、ジャンプ・シーケンスを指します。単独のジャンプの回転数は自由です。いかなるダブルジャンプも（ダブル・アクセルを含む）もシングル・フリー・スケーティングにおいて（単独のジャンプ、ジャンプ・コンビネーション、ジャンプ・シーケンスの一部として）2回を超えて行うことはできません。すべてのトリプルとクワド・ジャンプのうち2種類だけを2回行うことができます。その内クワド・ジャンプは1種類のみ繰り返すことができます。これらのいずれかがコンビネーションまたはシーケンスの中で行なわれる場合は、どちらも通常どおりに評価されます。どちらも単独で行なわれた時は、2度目の単独ジャンプは本来の基礎値の70%となります。（+REPがつく）フリープログラムには、最大で3回までのジャンプ・コンビネーション、または2回のジャンプ・コンビネーションと1回のジャンプ・シーケンスを含めてもよいです。1つのジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスには最大3個までのジャンプを含んでよく、残りの2つは最大2個までのジャンプとします。ジャンプ・シーケンスとは2つまたは3つのジャンプからなるもので（回転数に制限はない）、第2および/または第3ジャンプがアクセル系ジャンプであり、第1

/ 第2ジャンプの着氷カーブから直接の踏み換えでアクセルジャンプの踏み切りカーブに移るものを指します。フリープログラムでは、プログラム後半に行われたジャンプ要素のうち、最後の3つのジャンプ要素のみ1.1倍されます。

② ジャンプ、フリップとルッツ

間違ったエッジでジャンプが開始されたのが明らかな場合には、テクニカル・パネルは間違ったエッジでの踏み切りであることをジャッジに示し、各ジャッジはそれに従いGOEを減点しなければなりません。

③ スピン

すべてのスピンは、異なる種類でなければなりません。(要素記号が異なっていることが必須です。同じ要素記号のスピンの繰り返しは、カウントされません。) スピンは、要求された最少回転数がなければなりません。スピン・コンビネーションは最少10回転、それ以外のスピンは最少6回転数が必要です。

④ ステップ

ステップ・シーケンスは、要求される形状はもはや存在はしません。しかしながら、ステップ・シーケンスは、はっきりと認識できるものであり、氷面のほぼ全体を活用して行わなければいけません。

⑤ コレオグラフィック・シーケンス

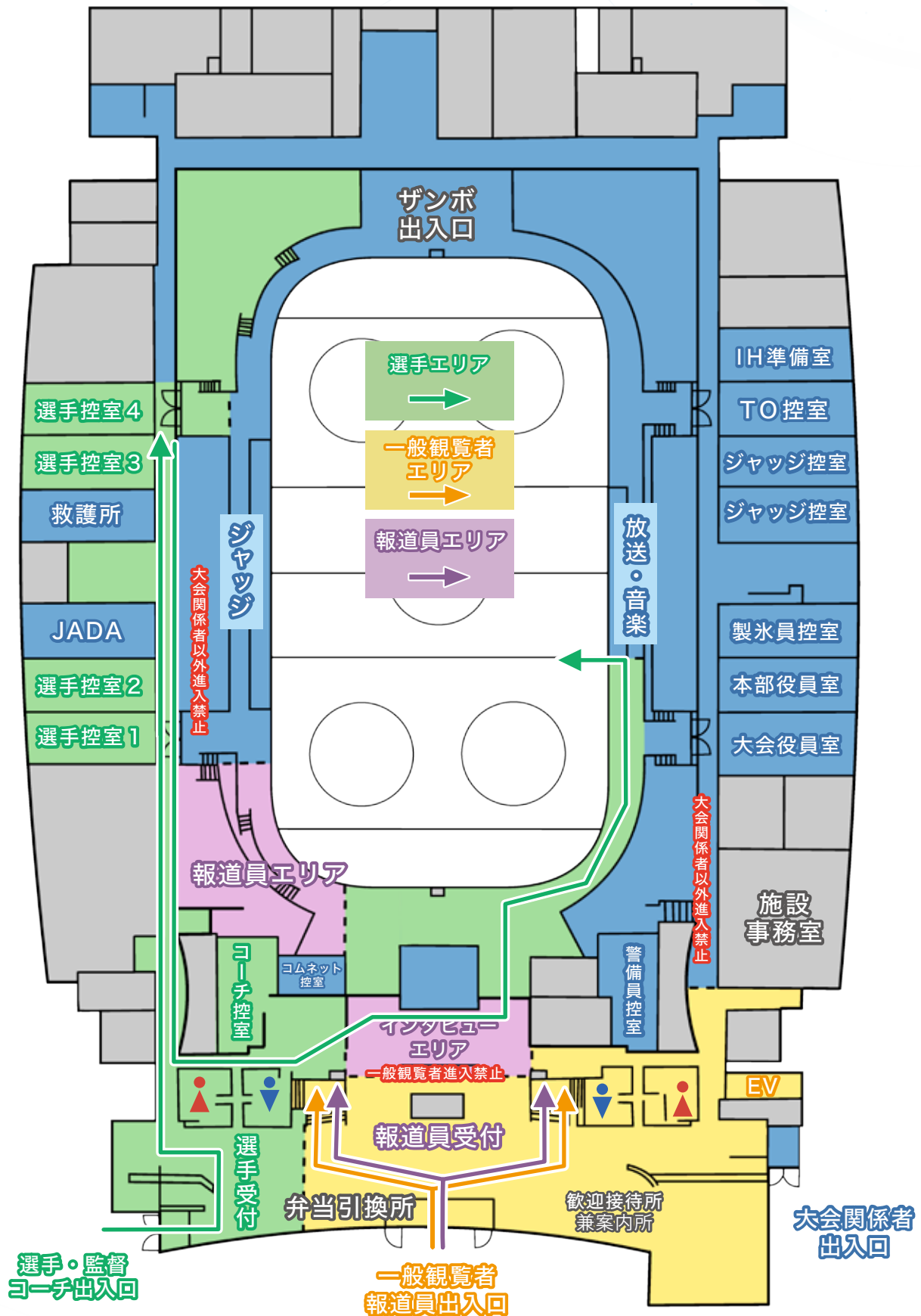
コレオグラフィック・シーケンスは、スパイラル、アラベスク、スプレッド・イーグル、イナ・バウアー、ハイドロブレーディング、最大2回転までのあらゆるジャンプ、スピンなど2つ以上の異なるムーブメントから構成されます。2つ以上のムーブメントのつながぎにはステップやターンを使うことができます。コレオグラフィック・シーケンスに含まれるリストにある要素はコールされずボックスを占めません。パターンは制限されませんが、シーケンスがはっきりと分かるものでなければなりません。

5 都道府県の成績算定方法

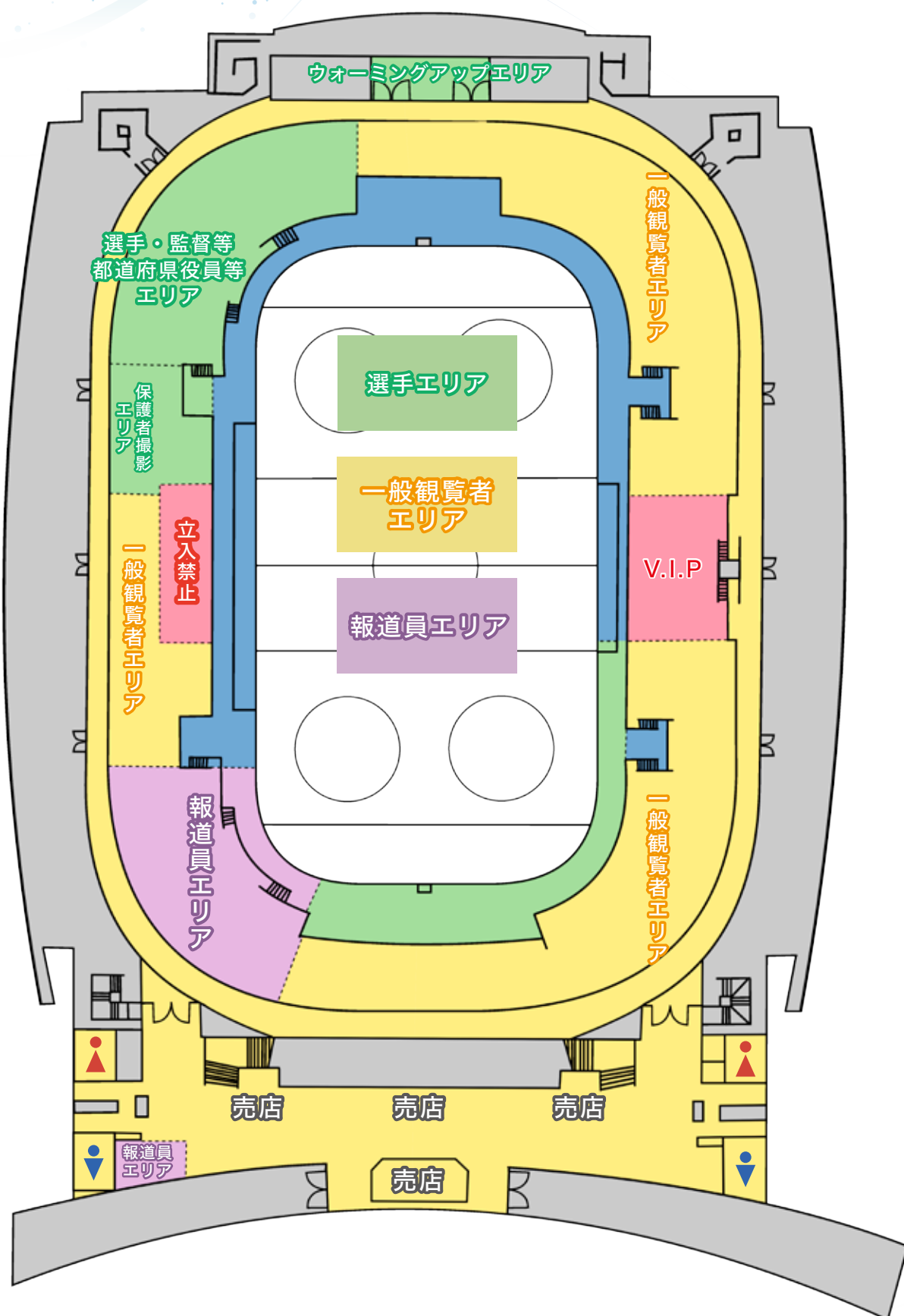
各種別（成年男子、成年女子、少年男子、少年女子）ごとに、参加した全員の順位が決定されると、その順位の逆転法によって個人得点を与え、チーム（2名）の合計点の昇順で都道府県の順位が決定します。同点の場合は、個人成績の良い選手を含むチームを上位とします。都道府県の競技得点は、下記のように与えられます。

1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
24 点	21 点	18 点	15 点	12 点	9 点	6 点	3 点

フィギュアスケート競技会場図 nepia アイスアリーナ 1階



フィギュアスケート競技会場図 nepia アイスアリーナ 2階



フィギュアスケート競技役員

競技委員長	伊東秀仁
競技副委員長	阿部鉄雄 山崎弘雄
技術代表	麻本智幸
副技術代表	鍛冶光利

レフェリー	宮坂美保	楡本龍子		
ジャッジ	齋藤司	白井春人	三宅理紗	岩崎秀年
	針ヶ谷雅子	高橋眞喜子	大森聡	岡村真貴子
	深津那菜	日垣晶子		
テクニカル・コントローラー	古畑裕美子	新田学		
テクニカル・スペシャリスト	友松啓一	堂園高志	神崎範之	佐野裕見
データ・リプレイオペレーター	伊藤功治	古川琢郎	伊藤麻也	

総務係	鍛冶光利
放送係	岩井川ひとみ
音楽係	新貝琳菜 佐々木麗華 鳥越道栄 小野彩可
計時係	高村邦子 小野眞理子 加藤美里
審判係	高村邦子 小野眞理子 加藤美里
選手係	加藤花怜 黒木優子 中村雅音
記録・広報係	麻本智幸
本部補助員	王子製紙新労働組合 苫小牧支部 学校法人 原学園苫小牧中央高等学校 北海道苫小牧工業高等学校 北海道苫小牧西高等学校 苫小牧市スポーツ推進委員
整氷補助員	北海道苫小牧工業高等学校 公益財団法人 苫小牧市スポーツ協会
表彰補助員	北海道苫小牧南高等学校

【第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会】

フィギュア競技会日程

nepia アイスアリーナ

日時	1月27日(土)	日時	1月28日(日)	日時	1月29日(月)	日時	1月30日(火)	日時	1月31日(水)
6		6 00	開 場	6 00	開 場	6 00	開 場	6 00	開 場
7		7 00	少年女子 G1(8) 1~8	7 00	少年女子 G1(8) 1~8	7 00	成年女子 G1(8) 1~8	7 00	成年女子 G1(8) 1~8
		25	G2(8) 9-16	25	G2(8) 9-16	25	G2(8) 9-16	25	G2(8) 9-16
8		50	整 氷	8 50	G3(8)17-24	8 50	整 氷	8 50	G3(8)17-24
		05	G3(8)17-24	15	整 氷	05	G3(8)17-24	15	整 氷
		30	G4(8)25-32	30	G1(8) 1~8	30	G4(8)25-32	30	整 氷
9		55	整 氷	55	G2(8) 9-16	55	整 氷	55	1G(6) 1~6
		10	少年男子 G1(8) 1~8	20	G3(8)17-24	10	G1(8) 1~8	10	2G(6) 7-12
		35	G2(8) 9-16	45	整 氷	35	G2(8) 9-16	35	整 氷
10		00	整 氷	00	G3(8)17-24	00	G3(8)17-24	00	3G(6)13-18
		15	G3(8)17-24	00	G(5) 1~5	25	整 氷	25	整 氷
		40	G4(8)25-32	11	2G(5) 6-10	40	1G(5) 1~5	40	4G(6)19-24
11		05	整 氷	11 20	3G(5)11-15	11 05	2G(5) 6-10	11 56	成年女子表彰式
		20	1G(5) 1~5	12	整 氷	12	3G(5)11-15		
12		12	少年女子 2G(5) 6-10	12 35	4G(5)16-20	12 35	整 氷		
			3G(5)11-15	13	5G(6)21-26	13	4G(5)16-20		
13		13	整 氷	13 50	6G(6)27-32	13 50	5G(6)21-26		
			4G(5)16-20	14	整 氷	14 15	6G(6)27-32		
14	30	14	5G(6)21-26	14 50	1G(6) 1~6	14 15	整 氷		
	開 場		6G(6)27-32	15	2G(6) 7-12	30	1G(6) 1~6		
15	30	15 55	整 氷	15 10	整 氷	15 30	2G(6) 7-12		
	北海道		1G(5) 1~5	16	3G(6)13-18	16 05	整 氷		
	青 森	16	2G(5) 6-10	16 05	4G(6)19-24	16 25	3G(6)13-18		
	埼 玉	17	少年男子 3G(5)11-15	17 05	少年男子表彰式	17 56	4G(6)19-24		
	整 氷	17	整 氷	18 05	整 氷				
16	45	18	4G(5)16-20	18 05	1G(6) 1~6				
	東 京	19	5G(6)21-26	19 05	2G(6) 7-12				
	神 奈 川	20	6G(6)27-32	20 05	整 氷				
	愛 知	21	整 氷	21 20	少年女子表彰式				
	都 府 県 公 式 練 習	22	G1(8) 1~8						
	京都		G2(8) 9-16						
	大阪		整 氷						
	兵 庫		G3(8)17-24						
	整 氷		G4(8)25-32						
	岡 山								
	茨 城・群 馬								
	滋 賀・広 島								
	整 氷								
	宮 城・山 梨								
	千 葉・長 野								
	整 氷								
	新 潟・鳥 取								
	福 岡・香 川								
21									
22									

※タイムスケジュールは競技進行状況により、変更になる場合がありますのでご注意ください。

フィギュア競技参加者一覧

【成年男子】

No.	氏 名	フリガナ	級	都道府県	監 督
1	長谷川 一輝	ハセガワ カズキ	7	北海道	齊藤 有沙
2	坪井 聖弥	ツボイ セイヤ	7		
3	木村 真人	キムラ マサト	7	青森県	畠山 行雄
4	木村 哲太	キムラ テッタ	6		
5	坂 東 凜	バンドウ リン	7	茨城県	鈴木 みさ子
6	柳 澤 翔	ヤナギサワ ショウ	5		
7	大島 光翔	オオシマ コウショウ	7	埼玉県	西村 尚美
8	大中 惟吹	オオナカイ ブキ	7		
9	佐藤 由基	サトウ ヨシキ	7	千葉県	中村 和
10	北村 凌大	キタムラ リョウタ	7		
11	小田 垣 櫻	オダガキ サクラ	7	東京都	小佐野 貴子
12	菊地 竜生	キクチ リュウセイ	7		
13	志賀 海門	シガミ ナト	7	神奈川県	山下 千華子
14	栖川 源二郎	スガワ ゲンジロウ	6		
15	菅原 生成	スガハラ キナリ	7	新潟県	松澤 光代
16	玉木 時義	タマキ トキヨシ	5		
17	誉田 知己	ホンダ ハルキ	7	愛知県	久野 千嘉子
18	壺井 達也	ツボイ タツヤ	7		
19	小林 隼	コバヤ シシュン	7	滋賀県	小宮山 敦子
20	福井 唯吹	フクイ イブキ	5		
21	佐々木 晴也	ササキ ハルヤ	7	京都府	今井 麻実
22	前川 裕士	マエカワ ユウジ	7		
23	友野 一希	トモノ カズキ	7	大阪府	桜井 修吾
24	織田 信成	オダノ ブナリ	7		
25	吉岡 希	ヨシオ カノゾム	7	兵庫県	新堂 浩
26	高浜 琢斗	タカハ マタクト	7		
27	杉山 匠海	スギヤマ タクミ	7	岡山県	井上 敦子
28	三宅 星南	ミヤケ セナ	7		
29	鈴木 零偉	スズキ レイ	7	広島県	保坂 花佳
30	三島 悠生	ミシマ ハルキ	7		
31	松岡 隼矢	マツオ カシュンヤ	7	福岡県	昌子 直理
32	立神 杏士郎	タテガミ アンジロウ	7		

フィギュア競技参加者一覧

【成年女子】

No.	氏 名	フリガナ	級	都道府県	監督
1	大 関 凜 花	オオセキリンカ	7	北 海 道	玉 田 夏 菜
2	宮 本 藍 里	ミヤモトアイリ	7		
3	藤 田 海 羽	フジタミウ	6	青 森 県	新 山 奈 緒 子
4	安 保 咲 野	ア ン ボ サ ヤ	6		
5	三 浦 向 日 葵	ミウラヒマリ	7	宮 城 県	島 田 篤 史
6	藤 崎 鈴	フジサキスズ	7		
7	石 田 真 綾	イシダマアヤ	7	埼 玉 県	矢 野 ま す み
8	菊 池 彩 子	キクチサイコ	7		
9	小 成 日 和	コナリヒヨリ	7	千 葉 県	福 屋 優 子
10	三 枝 知 香 子	サイグサチカコ	7		
11	住 吉 り を ん	スミヨシリラン	7	東 京 都	中 村 理 奈
12	樋 口 新 葉	ヒグチワカバ	7		
13	青 木 祐 奈	ア オ キ ユ ナ	7	神 奈 川 県	松 村 ゆ み 子
14	田 邊 桜 香	タナベサクラコ	7		
15	吉 岡 詩 果	ヨシオカシイカ	7	山 梨 県	小 笠 原 真
16	中 本 有 咲	ナカモトアリサ	7		
17	松 生 理 乃	マツイケリノ	7	愛 知 県	久 野 千 嘉 子
18	河 辺 愛 菜	カワベマナ	7		
19	白 岩 優 奈	シライウユウナ	8	京 都 府	水 田 幸 子
20	前 野 百 花	マエノモモカ	7		
21	鈴 木 な つ	スズキナツ	7	大 阪 府	塩 見 美 由 紀
22	木 下 咲 良	キノシタサクラ	7		
23	坂 本 花 織	サカモトカオリ	7	兵 庫 県	上 野 沙 耶
24	籠 谷 歩 未	カゴタニアユミ	7		
25	小 嶋 孝 夏	コジマキョウカ	7	鳥 取 県	須 寄 功 典
26	佐 々 木 和 音	ササキカズネ	7		
27	三 宅 咲 綺	ミヤケサキ	7	岡 山 県	平 井 隆 史
28	岡 本 真 綸	オカモトマリン	7		
29	田 村 綾 音	タムラアヤネ	7	広 島 県	前 雅 美
30	川 畑 貴 音	カワバタタカネ	7		
31	江 川 マ リ ア	エガワマリア	7	福 岡 県	三 坂 絹 子
32	鴨 井 彬 莉 彩	カモイアリサ	7		

フィギュア競技参加者一覧

【少年男子】

No.	氏 名	フ リ ガ ナ	級	都道府県	監 督
1	西 本 那 音	ニ シ モ ト ナ オ ト	7	北 海 道	伊 藤 蘭
2	松 岡 晃 太 朗	マ ツ オ カ コ ウ タ ロ ウ	6		
3	田名部飛至也	タ ナ ブ ト シ ヤ	6	青 森 県	畠 山 行 雄
4	種 市 晃 大	タ ネ イ チ コ ウ ダ イ	6		
5	尾 形 広 由	オ ガ タ ヒ ロ ヨ シ	7	宮 城 県	荒 井 万 里 絵
6	本 田 大 翔	ホ ン ダ ヒ ロ ト	7		
7	田 邊 拓 也	タ ナ ベ タ ク ヤ	7	群 馬 県	中 村 眞 規 子
8	塚 田 凌 麻	ツ カ ダ リ ヨ ウ マ	5		
9	矢 島 司	ヤ ジ マ ツ カ サ	7	埼 玉 県	西 村 尚 美
10	木 村 智 貴	キ ム ラ ト モ キ	7		
11	池 田 立	イ ケ ダ リ ツ	7	千 葉 県	中 村 和
12	田 口 湊 音	タ グ チ ミ ナ ト	7		
13	三 浦 佳 生	ミ ウ ラ カ オ	7	東 京 都	加 賀 山 翔
14	蛭 原 大 弥	エ ビ ハ ラ ダ イ ヤ	7		
15	牧 島 瑠 依	マ キ シ マ ル イ	7	神 奈 川 県	山 下 千 華 子
16	丹 羽 遥 珂	ニ ワ ハ ル カ	7		
17	岡 本 和 彩	オ カ モ ト カ イ	6	新 潟 県	伝 井 達
18	金 子 ヒ ロ	カ ネ コ ヒ ロ	7		
19	中 村 俊 介	ナ カ ム ラ シ ャ ャ ス ケ	7	愛 知 県	富 田 希
20	田 内 誠 悟	タ ウ チ セ イ ゴ	7		
21	松 野 嵩	マ ツ ノ シ ユ ウ	6	滋 賀 県	築 山 由 美
22	加 藤 嶺	カ ト ウ レ イ	6		
23	森 本 涼 雅	モ リ モ ト リ ヨ ウ ガ	7	京 都 府	小 川 純 子
24	磯 和 大 智	イ ソ ワ タ イ チ	7		
25	朝 賀 俊 太 朗	ア サ ガ シ ャ ャ タ ロ ウ	7	大 阪 府	平 山 寿 美 代
26	織 田 信 義	オ ダ ノ ブ ヨ シ	7		
27	佐 藤 光	サ ト ウ ヒ カ リ	7	兵 庫 県	通 川 祐 子
28	橋 本 周 一 郎	ハ シ モ ト シ ユ ウ イ チ ロ ウ	6		
29	小 河 原 泉 颯	オ ガ ハ ラ イ ブ キ	7	岡 山 県	佐 々 木 美 行
30	末 国 太 樹	ス エ ク ニ タ イ キ	7		
31	戸 田 晴 登	ト ダ ハ ル ト	7	福 岡 県	吉 見 摩 耶
32	垂 水 爽 空	タ ル ミ ソ ラ	7		

フィギュア競技参加者一覧

【少年女子】

No.	氏 名	フリガナ	級	都道府県	監 督
1	岩 本 愛 子	イワモトアイコ	7	北 海 道	伊 藤 蘭
2	加 藤 杏 望	カトウアズミ	6		
3	聖 前 埜 乃 華	ショウゼンノノカ	7	青 森 県	竹 内 明 美
4	藤 原 愛 菜	フジワラアイナ	7		
5	瀬 川 穂 乃	セ ガ ワ ホ ノ	7	宮 城 県	伊 藤 房 子
6	吉 田 け い	ヨ シ ダ ケ イ	7		
7	花 田 実 優	ハ ナ ダ ミ ユ ウ	7	茨 城 県	山 崎 真 衣
8	塙 雪 月 花	ハ ナ ワ キ ラ ラ	6		
9	鈴 木 莉 乃	ス ズ キ リ ノ	6	群 馬 県	鈴 木 み ゆ き
10	星 野 真 璃	ホ シ ノ マ リ	7		
11	千 葉 美 乃 花	チ バ ミ ノ カ	7	埼 玉 県	藤 田 早 苗
12	藤 沼 聖 空	フジヌマセイラ	7		
13	奥 野 友 莉 菜	オ ク ノ ユ リ ナ	7	東 京 都	小 佐 野 貴 子
14	中 尾 歩	ナ カ オ ア ユ ミ	7		
15	氏 家 天	ウ ジ イ エ テ ン	7	神 奈 川 県	須 賀 真 理 子
16	永 田 桂 都	ナ ガ タ ケ イ ト	7		
17	小 田 佳 名 美	オ ダ カ ナ ミ	6	新 潟 県	伝 井 達
18	本 間 久 愛	ホ ン マ ヒ サ ナ	7		
19	入 江 美 友	イ リ エ ミ ユ	7	長 野 県	依 田 麻 由
20	山 崎 有 紗	ヤマザキアリサ	6		
21	大 坪 瑚 子	オ オ ツ ボ コ コ	7	愛 知 県	成 瀬 葉 里 子
22	櫛 田 育 良	ク シ ダ イ ク ラ	7		
23	吉 田 陽 菜	ヨ シ ダ ハ ナ	7	京 都 府	細 川 信 子
24	柴 山 歩	シバヤマアユミ	7		
25	岩 崎 陽 菜	イワサキハルナ	7	大 阪 府	西 村 直 子
26	鈴 木 志 帆	ス ズ キ シ ホ	6		
27	重 田 美 星	シ ゲ タ ミ ラ	7	兵 庫 県	武 井 美 由 季
28	豆 板 美 稀 子	マ メ イ タ ミ キ コ	7		
29	村 岡 那 菜	ム ラ オ カ ナ ナ	7	岡 山 県	高 旗 彰 徳
30	國 本 麗 華	クニモトレイカ	6		
31	横 田 胡 幸	ヨ コ タ コ ユ キ	7	香 川 県	西 京 子
32	木 村 芽 愛	キ ム ラ メ ア イ	7		

スケート競技会総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点を合計し、その得点の多い都道府県順に第1位から第8位までを決定する。

ただし、同点の場合はその順位を共有し、次の順位を欠位とする。

1 競技得点の種類

- (1) 各種目に与える競技得点：スピードスケート、ショートトラック
- (2) 種別给与える競技得点：フィギュアスケート

2 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点							
成 年 男 子 成 年 女 子 少 年 男 子 少 年 女 子	成 年 女 子 少 年 女 子	スピードスケート、ショートトラック： 各種目（リレーを含む。）とも、以下の競技得点を与える。							
		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
		8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点
		フィギュアスケート： 各種別とも、以下の競技得点を与える。							
		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
24点	21点	18点	15点	12点	9 点	6 点	3 点		

※ 同得点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。得点は、次の順位の得点を加え、当該都道府県で等分する。

3 参加得点

大会（ブロック大会等を含む。）に参加した都道府県に、参加得点 10 点を与える。

ただし、第 78 回国民スポーツ大会冬季大会フィギュア競技予選会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。